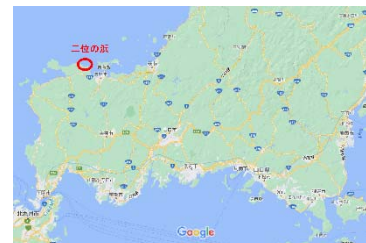


海

2021年5月17日

1 / 2



海

上の写真は山口県長門市油谷にある「二位の浜」である。学生時代から夏キャンプを始めて毎年ここでするのが恒例化していました。海に行きだした当初は、立ち泳ぎもまともにできませんでしたが、毎年泳ぎに行っていると、それなりに泳げるようになるものです。今ではシュノーケルさえ装着しとけば30分以上は遊泳できるかな、という感じです。ただ、未だに4mくらい潜ると水圧がきついです。

海でよく聞く「離岸流」このビーチではないけど、それっぽいのを体験したことはあります。岸はすぐそこなのに、泳いでも泳いでも前に進まない。実際その状況になると焦ります。霊の仕業かと思うくらいです。皆様お気を付けください。



ファイヤー

キャンプの醍醐味「ファイヤー」最近海岸でもモノを焼くと消防が駆けつけてくるので、今ではほぼできないと思われます。これくらい許してもらえないと、火起こしを伝授する機会もありません。やってみたら分かりますが、木を組んだだけでは直ぐに火は着きません。海付近の材木は基本湿っています。どうやったらファイヤーするのか苦労したものです。ちなみに「おが屑」最強です。

「流しそうめん」キャンプ始めた当初に試みたイベント。さすがに写真が残っていませんでした。実家の周りに竹が生えていたので、竹を切り出すところからやってみました。中は空洞なので普通の木より楽に切れます。切った後は枝打ち、いらぬ枝を切り落とします。そして適当な長さに切断。ここからがなかなか大変な作業です。竹割り、ナタを半分の位置に刺してからハンマー打撃。そして、一番

海

2021年5月17日

2 / 2

時間を要した、竹の節取り。そうめんを流すにはこいつが邪魔なわけで。取った後はやすりも使って平滑にしなければなりません。



竹の節

結果、無事に5m~7mくらいのそうめん流しが出来ましたが、半端ない労力があるため、一回きりで終わりました。自力で用意してやるものではありません。ただ、達成感があります。



夕日（近くの千畳敷より）

他にもキャンプらしいことをしたかったため、最初の頃は、米も飯盒で炊いたりしてましたが、途中から普通の鍋で炊けることにも気づき（最近炊くのもやめコンビニで調達）、朝も味噌汁を味噌から作っていましたが、「あさげ」等の即席みそ汁があることにも気づき、年を重ねるごとに労力を抑えたキャンプとなっています。便利な世の中になったものです。



海に感謝

設計部 新谷